

【総括表】

大館市公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(医療施設)

1 計画期間 平成30年4月1日から令和14年3月31日まで
計画見直し予定年度(令和3年度、令和8年度)

2 対象施設 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	
181	大館市立総合病院	豊町	存続	機能維持のための修繕を実施
182	大館市立扇田病院	比内町扇田字本道端	存続	機能維持のための修繕を実施
183	大館市休日夜間急患センター	豊町	存続	機能維持のための修繕を実施

3 施設管理に関する基本的な方針

- ・医療施設については、老朽化が進行している施設もあるが、地域の医療を担う基幹施設として今後も存続させ、市民に安全な医療環境を提供できるよう、計画的な改築や改修を行いながら、適正な維持管理に努める。

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	市立総合病院総務課
-----	-----------

1 施設の概要

施設名称	大館市立総合病院	施設面積	42,956.00 m ²
所在地	大館市 豊町3番1号	建設年	平成 19 年 (耐用年数 39 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造11階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

地域医療の中核を担う施設として、主要となる建物（高層棟）は建築より13年経過しているが、今後も相当期間の使用が見込めることから、計画的な改修で機能維持を図る。

老朽化している3棟（放射線棟・神経精神科棟・管理棟）について施設の存続を基本線に建替え等を含め検討を実施する。

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

--

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後30年以上使用 】

病院の核となる高層棟等は平成19年に建設され、耐用年数を考慮しても今後30年以上の使用見込みである。

また、放射線棟、41年・神経精神科棟、40年・管理棟、37年が建築より経過し、施設の老朽化は著しいが、改修等の延命図りながら今後も施設を継続使用をする。

4 管理上の課題等

・高層棟の建築から13年が経過しており、建築物に大きな問題は見られないが、建築当初に導入した主要設備（発電設備・空調設備・電気設備・通信設備・消防設備）の多くの機器が製造中止となっており、取替部品等の納入も困難な状態であるため、今後、多数の設備改修や更新が必要となる。

5 管理に関する実施方針

・病院施設として、建築基準法による特殊建築等定期調査を各年で実施しており、建築物の老朽化の応じて適切な補修を実施する。
 ・主要設備が法定耐用年数を迎えていくことになるが、重要度やコストを念頭に設置年数にこだわらず、必要な設備の計画的な更新を実施していく。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	高圧受電盤取替、電話交換機改修外	30,456	
R01	蓄電池更新、エレベーター・冷温水発生機・貫流ボイラー改修	44,220	
R02	空調自動制御機器更新、冷温水発生機・貫流ボイラー改修	55,638	
R03	チラーユニット2台更新、直流電源装置蓄電池更新	397,200	
R04	エレベーター更新・高層棟5Fルームエアコン更新 外	36,000	
R05	エレベーター更新・中央監視装置・高層棟6Fルームエアコン更新	71,730	
R06	電話交換機更新、高層棟7Fルームエアコン更新	92,200	
R07	エレベーター更新・厨房ガスヒートポンプエアコン・高層棟8Fルームエアコン更新	39,270	
R08	エレベーター更新・発電機改修・高層棟9Fルームエアコン更新	163,980	
R09	エレベーター更新・UPS改修・高層棟10Fルームエアコン更新	47,160	
R10	UPS改修・高層棟11Fルームエアコン更新	38,080	
R11			
R12			
R13			
合 計		1,015,934	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	44,877	47,347	50,552	
運用コスト	208,082	206,889	191,052	
修繕コスト	34,942	36,653	46,788	
その他	71,207	70,950	72,238	
(合計)	359,108	361,839	360,630	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
外来1日平均患者数	973	994	933	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和 5年3月20日

【個別票】

所管課

市立扇田病院

1 施設の概要

施設名称	大館市立扇田病院	施設面積	9,305.00 m ²
所在地	大館市 比内町扇田字本道端7番地 1	建設年	昭和 58 年 (耐用年数 39 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 6 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ハード面で改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

令和4年に耐用年数を迎えるが、高齢社会への急速な進行等により、医療や介護を必要とする高齢者の割合は今後ますます増加すると考えられる。市民の健康を守るため、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会を実現するために、地域医療を担っていく施設として必要であることから、今後も存続させていく。

しかし、令和元年9月に厚生労働省より「再検証対象医療機関」と発表されたことから、現在今後の当院の機能、病床数など、その将来像について検討中であるため、その結果によっては施設管理の方向性も変更されることになる。

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

--

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後10年以上使用 】

令和4年に耐用年数を迎えることになるが、施設の機能維持を保ちつつ長寿命化に努め、耐用年数以上の今後10年以上使用し続けることとし、患者数の推移や施設の老朽度を見極めながら、大規模改修等の検討を図る。

4 管理上の課題等

昭和58年11月の竣工以来34年（ドック棟：24年）が経過し、加速度的に老朽化が進んでいる。予算の範囲内で緊急性の高いものから更新を行っている。給排水管の老朽化による不具合については、その都度部分補修対応としており、今後、大規模な不具合が発生した場合には、大規模な改修が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・患者の安全性等を第一に考え、緊急性の高いものから更新していく。
- ・給排水管の老朽化による漏水、詰まりについては、その都度部分修繕を行っていく。
- ・再検証対象医療機関となったことから、現在将来像を検討中のため、その結果により管理に関する実施計画を変更していく。

6 管理に関する実施計画（令和2年2月19日変更）

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	受変電設備更新工事	14,500	
R01	受変電設備更新工事、蓄電池更新	21,340	
R02	2階病室エアコン更新工事	15,633	
R03			
R04	1階エアコン更新工事	10,000	
R05	受水槽補修工事	9,000	
R06	屋上防水・外壁補修工事	31,016	
R07	小型ボイラー更新工事	20,000	
R08	ダムウエーター更新工事	6,500	
R09	外来・管理棟床フローリング化工事	20,000	
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		147,989	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	44,077	48,344	50,777	
運用コスト	42,045	41,234	39,301	
修繕コスト	6,996	6,794	7,606	
その他	3,122	2,990	2,784	
（合計）	96,240	99,362	100,468	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
外来1日平均患者数	117	119	112	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和 5年3月20日

【個別票】

所管課	福祉部健康課
-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大館市休日夜間急患センター	施設面積	173.14 m ²
所在地	大館市 豊町3番2号	建設年	平成 10 年 (耐用年数 50 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 1 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	型	ソフト面・ハード面とも改善検討
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」 建築後 20 年以上が経過しているが、耐用年数が経過するまでは、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

--

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後 25 年以上使用 】

機能維持のための修繕等を行い、建物の耐用年数以上の使用を目標に、施設を維持していく。目標年数使用後は、建物状況等を考慮しながら、その後の方針を決める。

--

4 管理上の課題等

(ソフト面) 今後、医師等医療資源の状況を踏まえた施設運営が必要。
 (例) 休日のみの開放へ移行など
 (ハード面) この度のコロナ感染に見る新興感染症等に備えた発熱外来診察室などの増築が必要。

--

5 管理に関する実施方針

・今後25年以上使用するために、建物、設備の機能維持に必要な修繕を行う。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03	トイレの改修(バリアフリー化)	6,105	
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		6,105	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	23,293	24,088	23,986	
運用コスト	821	815	775	
修繕コスト	0	0	0	
その他	41	40	48	
(合計)	24,155	24,943	24,809	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	30,190	34,441	11,017	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用者数	4,495	5,060	1,927	